

特集

自転車に正しく乗っていますか？

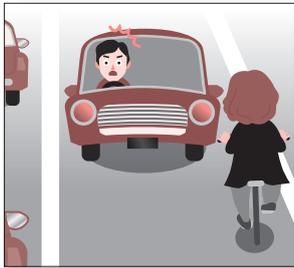
安城市は高低差がほとんどなく、快適に自転車に乗ることができるまちです。
しかし、それは皆が自転車の乗車ルールを守り、安全に乗ることが大前提。
いま一度、自転車の乗車ルールや自転車保険について確認しましょう。

あなたはルールを守れていますか

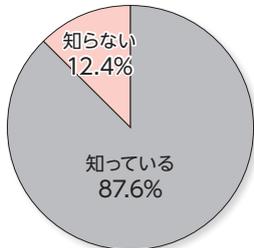
自転車の乗車ルールチェック！

自転車は道路交通法上、軽車両であり、車と同様に交通ルールを守らなければ処罰対象になります。交通ルールを守り自転車に正しく乗ってもらうため、乗車ルールを紹介しましょう。

自転車は車道の左側を走らなくてはなりません。
(例外・13歳未満・70歳以上・身体障害者が通行する場合、車道を走ると危ない場合等)



左側通行している他の自動車やバイクと正面衝突する危険があり、重大な事故につながりかねません。

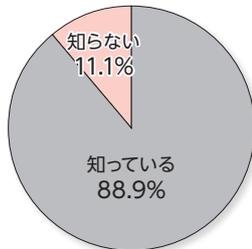


「自転車は車道の左側通行が原則」
12.4%が「知らない」と回答。

「止まれ」の標識では、自転車も一時停止しなくてはなりません。



交差点で「止まれ」のある場所では必ず一時停止をし、左右をよく確認してから通行しましょう。

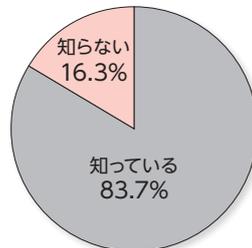


「自転車も「止まれ」の標識で一時的停止しなければならない」
11.1%が「知らない」と回答。

イヤホン等をして大音量で音楽を聴く等、周りの音が聞こえない状態で自転車に乗ってはけません。



車のエンジン音やクラクション、人の声等が聞こえなくなり、非常に危険です。



「自転車の運転中にイヤホン等を使ってはいけない」
16.3%が「知らない」と回答。

「市民アンケート」(令和元年/回答者2108人)
「自転車運転中のスマートフォン禁止(ながらスマホ禁止)を知らない」2.6%、「飲酒運転禁止を知らない」2.8%、「傘さし運転禁止を知らない」7.6%等の回答が得られました。これらと比較して左記3つの乗車ルールは知らない人の割合が高くなっています。

自転車の重大事故が相次いでいます

事例3

平成21年、中学生2人が自転車で道路右側を並走し対向車の大型トラックと接触。1人は後遺症の残る重傷を負った。約2500万円の損害額が認められたが、右側通行および並走の過失により、損害賠償額は約1000万円に減額。

事例2

平成22年、自転車に乗った8歳男児が一時停止せず交差点に進入しトラックと衝突。高次脳機能障害等の後遺症が残り、約6000万円の損害額が認められたが、男児の一時停止の過失により損害賠償額は半額に減額。

事例1

平成29年、大学生が左耳をイヤホンでふさぎ、ハンドルに添えた左手でスマホを持って操作し、右手にドリンクを持って自転車を運転中、歩道上の歩行者と衝突し死亡させた。重過失致死罪で起訴され、禁錮2年、執行猶予4年の有罪判決が下される。

自転車の整備・点検をし、自転車保険に加入しましょう

安全に自転車に乗車できるように、定期的に自転車の整備・点検を受けましょう。自転車事故での高額賠償事例が相次いで起こっています。自転車保険に加入しましょう。自転車店で点検・整備(有料)を受けて、自転車にTSマークを貼ってもらうと、保険が付きまます。保険の有効期限は1年、賠償責任補償限度額は1億円です(赤色TSマークの場合。下表参照)。

■補助制度を活用しましょう

市内19店の「まちの自転車屋さん」で点検・整備を受けてTSマークを貼ってもらうと、市から500円の補助が受けられます。点検・整備費用は概ね1000円〜2000円です(別途整備費用が必要になる場合有)。

※「まちの自転車屋さん」の一覧は右下のQRコード参照。

●補助を受けるには 保険加入後、保険加入書(控え)、点検・整備費用の領収書、認印、振込先口座が分かるものを持って都市計画課へ

！
平成31(令和元)年度中に点検を受けた場合の申請期限は令和2年3月31日(火)です。

●TSマーク(赤色)付帯保険補償内容

	死亡又は重度後遺障害 (傷害補償1〜4級、賠償責任補償1〜7級)	入院 (15日以上)
傷害補償	一律100万円	一律10万円
賠償責任補償	1億円(限度額)	—
被害者見舞金	—	一律10万円

●TSマーク



●まちの自転車屋さん

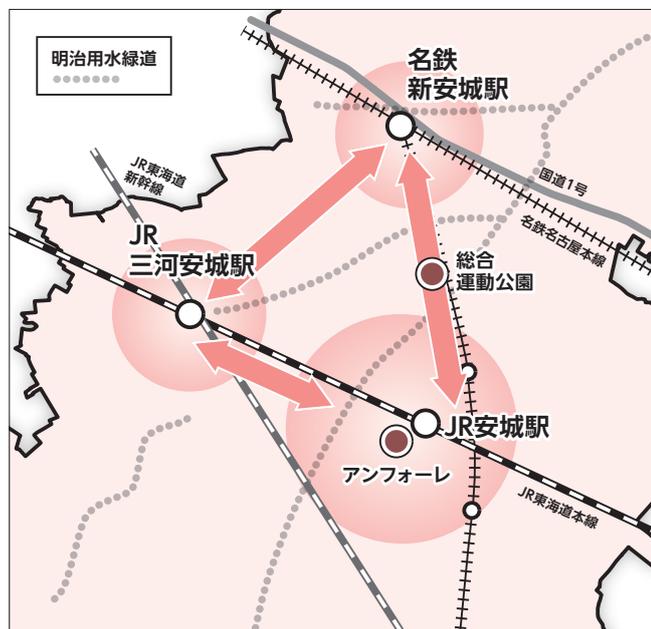


お知らせ

「自転車ネットワーク」の整備を進めています

安全で快適な自転車利用を促進するため、市はJR安城駅、JR三河安城駅、名鉄新安城駅を結ぶ路線に、自転車を通る場所を示す等の整備を優先的に進めています。

自転車ネットワーク イメージ図(抜粋)



自転車盗難、多発しています！

市内では、平成30年に198件、平成31(令和元)年に204件の自転車盗が発生しました。自転車を駐輪場に停めるときは二重ロックをする等、必ずカギをかけるようにしましょう。また、必ず防犯登録をしましょう。



自転車は、血糖値を下げる、コレステロールを下げる、身体の免疫力を上げる、抗酸化作用を高める、身体の余分な脂肪を落とす等、生活習慣病対策に効果があると言われています。安全運転を心がけながら、皆さんも自転車で出かけませんか？